

努力を重ねて希望を描く

松浦市在住の若手洋画家、榮岩伸治さんが、第57回長崎県展において、洋画部門の若手入賞作品の中から選ばれる「野口彌太郎賞」を受賞しました。



Interview 榮岩 伸治 さん

榮岩伸治さん(志佐・鹿ノ爪、31)が描く絵は、写実絵画と呼ばれるもので、描かれる絵は、今にも動き出しそうなほど、被写体の細部にわたり繊細に描写されています。

受賞作品の「祈り」は、深い青色を背景に白い服をきた女性が横たわるシンプルな構図です。人物の肌や服の質感をリアルに表現し、柔らかな表情を浮かべた女性が、真っ直ぐに見つめる眼差しの先に“生きる力”や“希望”を感じさせる作品です。

作者の榮岩さんに受賞の喜びなど、いくつかお話を聞いてみました。

C この人に LOSE UP!
まつうら 輝人 キラリ

Q 今回の受賞の感想を聞かせてください。

A 作品の構図が受け入れられるかどうか不安があったので、受賞の知らせを受けたときには正直驚きました。働きながら、独学でこつこつと絵を描いてきたので、制作していく上での自分の考えや発想、技術など、今回評価していただいたことは、今後の大きな自信になります。

Q 絵を始めたきっかけは?

A もともと小さい頃から絵を描くことは好きでしたが、中学生までは美術というよりもスポーツを楽しんでいました。中学時代の教科

Q これからの目標や夢は?

A 今後は、東京で開かれる中央展など、全国レベルの展覧会にも積極的に出展し、今の実力を試しながらスキルアップを図っていきます。

どれだけ本物に近付けられるかということを意識していますが、被写体の外見だけでなく、内面の美しさや温かさなどを表現できれどと思っています。

将来的には、画家を職業として絵画の制作に専念できるように頑張っていきたいと思っています。

また、気軽に参加できるように絵画教室を開き、たくさんの人に絵を楽しんでもらいたいと思っています。



▲第57回長崎県展 野口彌太郎賞受賞作品
作品名『祈り』

※野口彌太郎賞は、洋画部門で入賞した40歳未満の新進作家に贈られる特別賞。

納税の推進に貢献

納税組合功労者表彰式が9月26日、市役所で行われ、長年にわたり納税組合長を務め、納税の推進に貢献された8人に市から感謝状および表彰状を贈呈しました。

今福町北東2第1納税組合のふかすの組合長を29年間務め、今回退任した小村信和（写真）さんは、「この仕事は信頼と信用が大切。協力し、支えてくれた人たちに感謝します」と話しました。表彰を受けた人たちは次の通りです（敬称略）。

【感謝状】※勤続10年以上で退任した人

小村信和（今福・北東2） 吉福秀夫（志佐・田ノ平）
西田良一（御厨・小船） 大石スミ（星鹿・川原辺田）
鬼塚徳繁（志佐・池成） 坂本強兵（今福・坂野）

【表彰状】※勤続15年を迎えた人

近藤時吉（星鹿・星鹿）
徳永立男（今福・人柱）



厚生労働大臣から感謝状

本市の民生委員・児童委員として7年9カ月の永きにわたり活躍され、今回退任された吉田日出ひでおさん（御厨・田代）へ厚生労働大臣から感謝状が贈られました。

吉田さんは、平成16年12月1日に民生委員・児童委員に委嘱されて以来、温厚かつ誠実な人柄と強い責任感で常に住民の立場で相談に応じるなど、地域における社会福祉の増進に大きく寄与されました。

9月25日に、市役所で感謝状の伝達式が行われ、友広市長から感謝状が渡されました。



あなたの健康お手伝いします

すこやか
けんか

インフルエンザ — 家族のみんなで予防しよう —

問合せ先 〔高齢者〕健康ほけん課 ☎内線168

〔幼児〕子育てこども課 ☎内線171

秋も深まり、そろそろ冬の足音が聞こえてくるこの季節、特に心配されるのがインフルエンザの流行です。厚生労働省の発表では、例年12月～3月が流行時期とされています。インフルエンザは、高齢者や免疫力が落ちていた人が感染すると肺炎を併発しやすく、小児ではまれに急性脳症を発症するなど重症に陥る場合があります。感染を防ぐために、私たち一人ひとりが普段から注意することが大切です。

■インフルエンザの症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。

■インフルエンザの予防

・流行前の予防接種
予防接種の効果は、早くても接種後2週間からと言われています。流行前の接種が有効です。

・外出後の手洗い

手洗いは手に付着したウイルスを除去するために有効です。

・適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。加湿器などを使って、適度な湿度（50～60％）を保ちましょう。

・十分な休養とバランスのとれた食事

体の抵抗力を高めましょう。

・マスクの着用

人ごみに入るときには、マスクを着用しましょう。

■インフルエンザかな？と思ったら

早めに医療機関で受診しましょう。周りの人への配慮としてマスクの着用や、医師から指示された期間は外出を控えるなど、治療に専念しましょう。

松浦市では、高齢者（65歳以上）と幼児（1歳以上小学校就学前まで）に対して予防接種費用の一部を補助しています。詳しくは、右記の問合せ先へお尋ねください。